

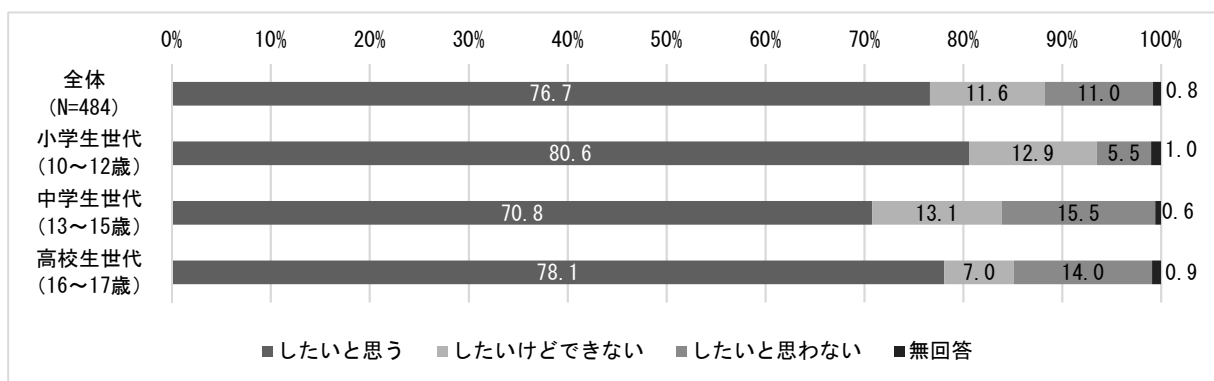
3 相談するところについて

(1) 相談する相手

【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思うかをたずねたところ、子ども全体では「したいと思う」という回答が76.7%でした。世代別にみると、「したいと思う」と回答した割合は、小学生世代が80.6%と最も高くなりました。

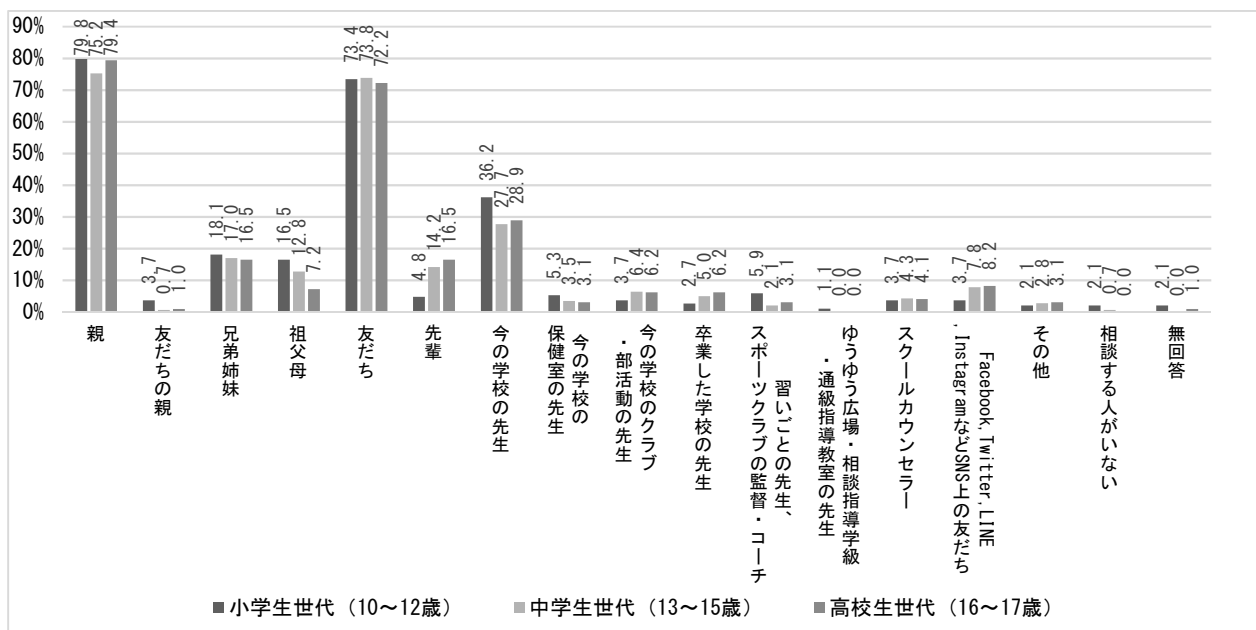
図48 Q16 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、誰かに相談したいと思いますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談するかをたずねたところ、全世代で「親」と回答した割合が最も高くなりました。

図49 Q17 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたら、誰に相談しますか。(複数選択可)【子ども：世代別】

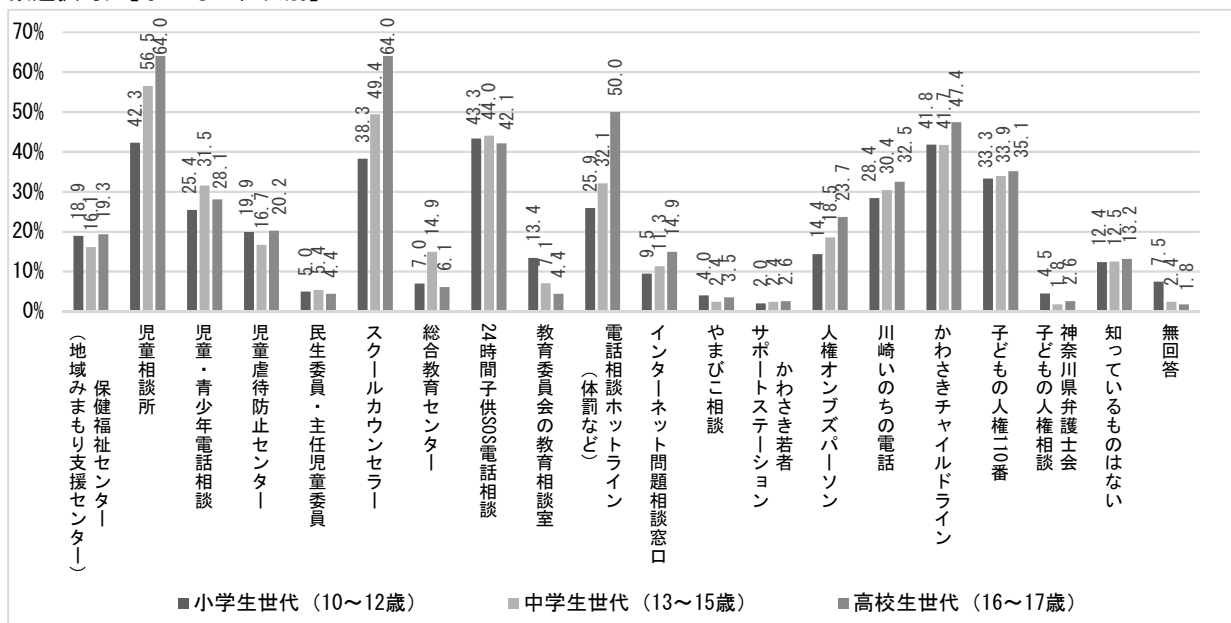


(2) 相談する場所

【子ども：世代別】

子どもに、知っている川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）をたずねたところ、小学生世代は「24時間子供SOS電話相談」、中学生世代は、「児童相談所」、高校生世代は「児童相談所」「スクールカウンセラー」と回答した割合が最も高くなりました。

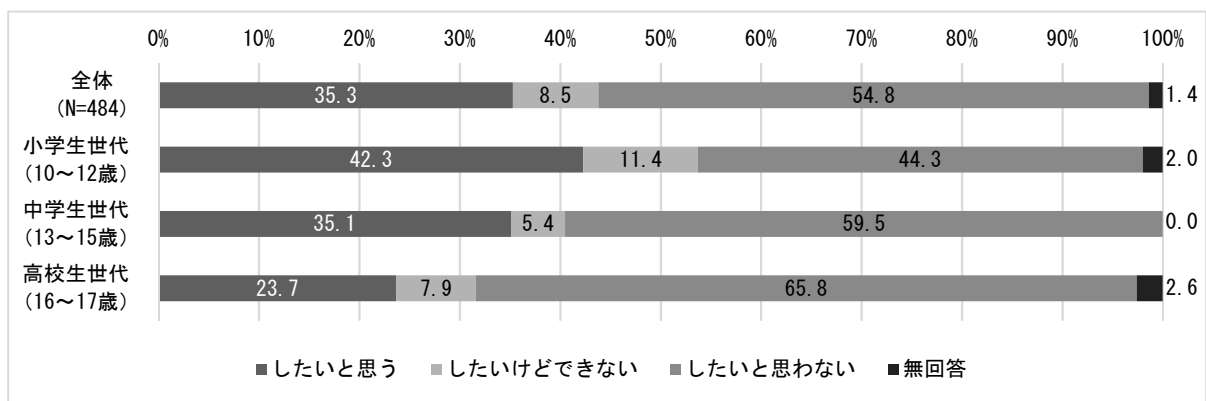
図 50 Q18 次のような川崎市の子どもの相談・救済機関（相談を受けてくれるところ）を知っていますか。（複数選択可）【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、Q18のような相談・救済機関に相談したいかをたずねたところ、「したいと思う」と回答した割合は、小学生世代で 42.3%、中学生世代は 35.1%、高校生世代は 23.7%でした。「したいけどできない」と回答した割合は、小学生世代で 11.4%、中学生世代は 5.4%、高校生世代は 7.9%でした。

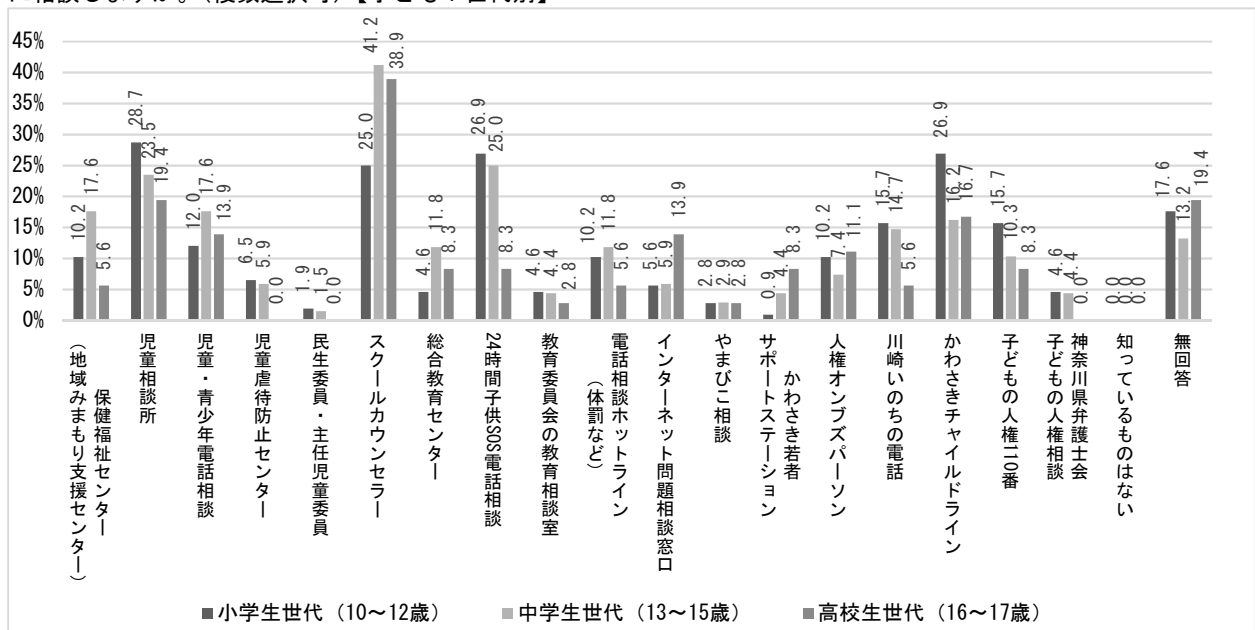
図 51 Q19 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、Q18のような相談・救済機関に相談したいと思いますか。【子ども：世代別】



【子ども：世代別】

子どもに、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談するかをたずねたところ、小学生世代では「児童相談所」と回答した割合が最も高く、中学生世代と高校生世代では「スクールカウンセラー」と回答した割合が最も高くなりました。

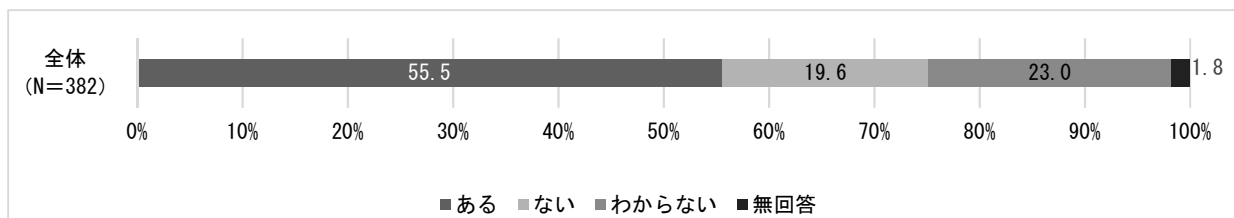
図 52 Q20 あなたは、困ったり悩んだりしたとき、相談するとしたらQ18のような相談・救済機関の内のどこに相談しますか。(複数選択可)【子ども：世代別】



【職員：全体】

職員に、職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことの仕組みがあるかをたずねたところ、全体で「ある」と答えた回答は55.5%でした。

図 53 Q16 あなたの職場では、子どもが悩んだり困ったりしたときに、子ども自身が解決に向けて動き出すことのできる仕組みがありますか。【職員：全体】



「わからない」と回答した理由についてはP.122 参照

「ある」と回答した人の職場で設けられている仕組みについてはP.123 参照